



2025年12月29日  
第107号

# JR 東労組 Yokohama



JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一  
編集 情宣 担当  
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申  
第6号

「懲罰的な日勤およびヒューマンエラーに対する処分を直ちに止め、線路内  
落とし物拾得作業について、乗務員を含めた関係する全社員に  
統一した教育を求める申し入れ」2期日目(12/23)団体交渉を行う!

## 【2期日目 1項の途中から再開】

冒頭、1期日目交渉終了時に会社に調査を求めた3点の認識について回答を受ける!

組合	会社
認識の確認① なぜ横浜駅は2名体制で線路内落とし物拾得作業を行っているのか	
なぜ横浜駅は2名体制で線路内落とし物拾得を行っているのか。	横浜駅に限らず見張り体制でこれまでもやってきた。 <u>横浜駅については、戸塚駅での事象の後に駅の中でいろいろな議論があったと聞いている。最終的に、列車を抑止した後でもこれまでと変わらずに見張り員と作業員の2名で体制を取って対応していく、というところで駅の中で結論が出たと聞いている。</u>
認識の確認② 横浜駅の京浜東北線ホームで抑止を行う場合は口頭抑止なのか信号抑止なのか	
横浜駅の京浜東北線ホームにおいて、抑止手配はどのようなものがあるのか。	<u>あくまでケースバイケースの対応。もちろん列車の在線位置等にもよるので、その時の判断によって抑止を行っていく。ただ、信号抑止あっても口頭抑止であっても 安全の担保はしっかりとった上でやっているという認識。</u>
認識の確認③ 運転士が気笛吹鳴をした時の状況	
進入中に気笛吹鳴をした運転士は、何をもって気笛を吹鳴したのか。	<u>運転士は100mほど先の7号車付近でホーム上から人の手が伸びたことを認め、注意喚起のために気笛を吹鳴したということ。それがお客さまの手なのか、社員の手なのかどうかは確認できなかった。</u>
☆横浜駅が2名体制で落とし物拾得作業を行っている経緯	
横浜駅がなぜ2名体制でやっているのかと聞いたら、取り扱いが混在しているので、それはよろしくないから統一しようということだが、そのことは把握しているのか。	<u>そこについては把握はしていない。同一ホームなのに、取り扱いが2種類発生する。煩雑の取り扱いをするのかしないのか箇所を考えて、そこはいろいろな意見交換している。その上で通達という形で現場に下ろしている。その先、現場でそういった観点で運用しているかどうかまでは把握していないが、そういったやり取りがあったので、横浜駅はそこを踏まえて取り扱いを統一したということであればあの当時の話だなという認識である。</u>
横浜駅の取り扱いについて、把握できていなかったことは確認をさせていただく。	<b>確認!</b>
☆横浜駅の取り扱いは触車事故防止手引きのどこに当てはまるのか	
横浜駅の取り扱いは、触車事故防止手引きのどこに当てはまるのか。	横浜駅においては、従来通りの2名体制で触車事故防止手引きの(2)に当てはまる。
通達があって、その上で横浜駅は2名体制になっている。基本と応用が理解されておらず、わかりづらくなっているのではないか。	<u>組合側の主張を踏まえると確かにそうだと思う。</u>
触車事故防止手引きを深く読み取っている人はいない。	<u>体系的に捉えられないと困惑するという主張は受け止める。</u>
☆線路内落とし物拾得作業に伴う抑止について	
落とし物拾得作業に伴う抑止について、信号現示をダウンさせていない。運転士の注意力のみになっている。	信号現示をダウンさせると、その手前を走る列車にも影響する。なぜ抑止なのか、抑止されたところを超えてしまうとなってしまうのか、運転士に考えていただくことが重要。
☆防犯カメラの目的外使用について	
防犯カメラの目的外使用について、納得できるものではない。見せしめになる。	<u>管理者間で連携して使用した。今回の事象は非常に危険と判断し、安全を最優先した。社員に気づいてもらうためである。</u>
	<b>対立!</b>
☆引継ぎができなかったのはなぜか	
引継ぎをきちんと行うように教育しているのか。	必要なことである。引継ぎが無いとなると課題である。
一般論としてはそうだが、今回はそう言い切れるのか。	意見は承るが、 <u>今回については環境的要素ではない。</u>
☆連携不足という会社回答について	
連携不足という回答は淡白である。原因究明し、会社として対策を講じるべきだ。	受け止めるが、 <u>会社としては何度も周知している。</u>
	<b>対立!</b>

連携不足という会社回答については対立! 継続議論を確認し1項は終了!  
残りの2項から5項までは別日で議論を予定しています!